

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月30日

事業所名 こども相談室てんとうむし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			・療育内容に応じて工夫して使っている。広いスペースが必要な場合には、地区の学共や、町の体育室を利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			・県の様式を用いて、毎月確認している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	1	4		・8月に移転し、大きな段差はなくなった。援助が必要な利用児に対しては、適切に対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	2	・短時間勤務のパートの方の参画が難しいため、検討が必要。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。			5	・セミナーを行った時には、アンケートを実施し、スタッフ間で共有している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか		1	4	・今後実施していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		・今後検討していく。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか		5		・スタッフの経験年数に応じた研修を計画していく必要がある。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・利用前に、決められた様式に基づくアセスメントを実施し、療育方針を伝え、同意を得たうえで、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			・利用前に成育歴などを記入してもらうアセスメントシートを使い把握している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・活動ごとに月1回ミーティングを行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			年間計画を立て、グループ活動については、月の目標・予定を保護者に配布し見通しを持った療育を行うようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか	5			・夏休みには、最終週に学習選手権を行い、夏休みに目標を持って過ごせるようにし、生活リズムが乱れないよう頑張り表を用いている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・集団活動の内容は、出来るようになったことを評価しながら、個々に合わせてステップアップさせ、達成感を感じながら活動できるよう工夫している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・朝礼にて共有している。 ・引継ぎノートを利用し、情報伝達をしている。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		5		・毎回ではないが、定期的に行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			・次の支援の内容につなげるように記録をするよう工夫している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・モニタリングは行っているが、必要な情報をスタッフ間で共有できる仕組みをもっと工夫していきたい。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			・学習・粗大運動・手先の運動・生活自立技術・親子関係の内容をバランスよく取り入れるようにしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			・会議内容のスタッフ間の共有がもっとできるよう、工夫する必要がある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		1	4	・学校との共有はしていない。 ・保護者を通して情報を得ている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			5	・該当者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	1	・今後、連携できるよう、相談支援事業所と連携していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			5	・今後検討していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			5	・今後、連携できるよう、相談支援事業所と連携していきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4		・地域の学校に通っている児童が多いため、今のところ考えていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3		1	・町の連絡会議に出席している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・毎回、支援内容を伝えるようにしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	5			・保護者セミナー、懇談会、親子学習週間を実施している

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・利用開始時・変更時に説明している。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・必要に応じて、カウンセリングや電話相談に応じている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	・活動ごとの保護者懇談会や、セミナーは実施しているが、全体としての保護者会は行っていない。先輩保護者の話を聞く会などの実施を今後もっと増やしていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		・マニュアルがあり、記録を残し、事業所内で検討し、フィードバックしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・通信を発行し、行事予定や活動内容ごとの様子などを記載している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5			・プライバシーポリシーに基づき対応している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		・意思疎通を図るための方法を個々の特性に合わせて模索し、療育を行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか			5	・町のまつりに出店している。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			・閲覧用マニュアルを配置している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・年2回避難訓練週間を設けている。訓練行う利用児と書面を使った説明のみにする利用児をミーティングで決めて対応している。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		・法令の概要の読み合せ研修をおこなった
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			・重要事項説明書内に記載し、契約時に説明している。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3	2	・フェイスシートで把握している ・母親より申告により把握している ・父兄からアレルギーの有無については聞いている
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			5	・事例集はないが、ミーティングで共有している。